

# 令和4年三重県議会定例会

## 医療保健子ども福祉病院常任委員会

### 説明資料

	頁
<b>【所管事項説明】</b>	
1 「三重県病院事業中期経営計画」の延長について	1
2 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和3年度分）	2
3 指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価	6

令和4年10月11日  
病院事業庁

# 1 「三重県病院事業中期経営計画」の延長について

病院事業の中期経営計画については、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」）の影響により、現在は現行計画を令和4年度まで延長していますが、新型コロナの感染状況や、国・県の動向をふまえ、さらに1年延長することとし、令和5年度についても単年度の計画を策定することとします。

## 1 現行計画の位置づけと期間

- ・中期経営計画は、各病院に求められる役割・機能等をふまえ、病院事業の経営を中期的な観点から計画的に実施することを目的に策定しています。
- ・現行計画の期間は当初、平成29年度から令和2年度までの4年間としていましたが、新型コロナの影響により中期的な見通しを立てることが困難なことや、次期計画策定の指針となる国のガイドラインの策定が先送りされていたことから、令和3年度、4年度はそれぞれ単年度計画を策定して運用しているところです。

## 2 国・県の動向

- ・本年3月に国のガイドラインが策定され、その中では、令和4～5年度の間「公立病院経営強化プラン」を策定することが求められています。
- ・また、策定にあたっては地域医療構想や第8次医療計画（令和5年度までに改定）との整合を図ることも求められています。地域医療構想に係る議論が進行中であるほか、第8次医療計画で具体化される新興感染症への対応等に係る国の方針についても検討中の段階にあります。

## 3 現行計画の延長及び単年度計画の策定

- ・こうした状況から、公立病院経営強化プランとして位置付ける次期の中期経営計画については、地域医療構想の議論や第8次医療計画の改定状況をふまえながら、令和5年度中に策定することとします。
- ・このため、現行計画をさらに1年延長することとし、令和5年度については単年度計画を策定します。

## 4 今後の予定

- ・令和4年12月 常任委員会において「令和5年度計画（中間案）」を説明
- ・令和5年3月 常任委員会において「令和5年度計画（最終案）」を説明

## 2 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和3年度分）

< 県の評価等 >

施設所管部名： 病院事業庁

### 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県立志摩病院(志摩市阿児町鶴方1257)
指定管理者の名称等	公益社団法人地域医療振興協会 理事長 吉新通康 (東京都千代田区平河町 2-6-3)
指定の期間	平成 24 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療等に関する業務</li> <li>・利用に係る料金の收受等に関する業務</li> <li>・手数料の徴収に関する業務</li> <li>・施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務</li> <li>・その他志摩病院の管理上必要と認める業務</li> </ul>

### 2 施設設置者としての県の評価

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R2	R3	R2	R3	
1 管理業務の実施状況	B	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い疾患に対応できる体制の構築や住民の医療ニーズへの適切な対応など診療機能の維持・充実及び地域医療への貢献に努めた。</li> <li>・前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に関して関係機関と連携しながら病床の確保や地元住民に対するワクチン接種など、例年になく多種多様なニーズに適切かつ迅速に対応した。</li> </ul>
2 施設の利用状況	C	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き新型コロナウイルス感染症の影響がある中、1日平均入院患者数を除き前年度の実績を上回った。入院患者数については、新型コロナウイルス感染症患者専用病床及び人員の確保のために2つの病棟を閉鎖した期間があるなど、やむを得ないものと考えられる。</li> </ul>
3 成果目標及びその実績	C	B		—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経常収支比率は成果目標を達成したが、その他の指標は成果目標・前年度実績ともに下回っている。新型コロナウイルス感染症による影響を考慮しても目標の達成は困難だったと考えられるが、当該感染症患者の入院診療やワクチン接種などの対応については高く評価できる。</li> </ul>

※「評価の項目」の県の評価： 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。  
「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。  
「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<p>令和3年度においても、幅広い疾患に対応できるよう診療体制を維持し、診療機能の維持・充実及び地域医療への貢献に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院診療では、一般病棟及び回復期機能である地域包括ケア病床を運用することにより、地域の医療ニーズに的確に対応したことに加え、県からの要請に応え新型コロナウイルス感染症患者の受入れも機動的に行った。</li> <li>・外来診療では、産婦人科で常勤医師が欠員となったものの、非常勤医師等により診療体制を維持した。</li> <li>・救急診療では、内科系救急における 24 時間 365 日体制の患者受入れを継続するなど、住民の切実な医療ニーズにも適切に対応した。</li> <li>・成果目標については、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、経常収支比率を除く各指標で目標値の達成には至らなかった。今後、同感染症収束後の対応も視野に、指定管理者による的確かつ十分な要因の分析、対策の実施が必要である。</li> </ul>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## < 指定管理者の評価・報告書(令和3年度分) >

指定管理者の名称: 公益社団法人地域医療振興協会

### 1 管理業務の実施状況及び利用状況

#### (1) 管理業務の実施状況

##### ① 三重県立志摩病院の管理運営事業の実施に関する業務

- ・令和3年度の病院運営は、医師 30 名(常勤医 24 名、初期研修医6名)の診療体制でスタートし、業務の効率化を図りながら、診療機能の維持・充実及び地域医療への貢献に努めた。
- ・入院診療では、2次救急病院として救急患者や紹介患者を受け入れるとともに、回復期機能である地域包括ケア病棟(3・6病棟)を運用した。また、新型コロナウイルス感染症対策として県と連携しながら、緊急的な患者対応期には最大 26 病床の確保等を行った。
- ・外来診療では、産婦人科医師の退職に伴い常勤医師が欠員となったが、非常勤医師等により診療体制は維持した。そのほか、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外来(救急を含む)患者の受診控えが見受けられた。
- ・救急医療では、内科系で平成 28 年5月からの 24 時間 365 日の患者受入れを継続して実施した。さらに、小児科において前年度から引き続き、木曜日を除く日勤帯において1歳以上を対象に症例を限定して小児救急の受入れを行った。
- ・健診事業では、健診件数が前年度より増加した。また、婦人科健診の促進を図るため、令和3年 10 月より四日市羽津医療センターと契約を締結し、定期健診の一部(子宮がん検診)を志摩病院で受診できるようになり、健診者の利便性が向上した。
- ・地域医療支援病院(平成 29 年 10 月承認)として、1次医療を担う地域医療機関との患者の紹介・逆紹介の推進、入院加療や救急患者の受入れ、専門外来の診療、医療機器の共同利用、地域の医療関係職員の研修などを実施した。

##### ② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- ・建物(一般病棟、管理・検査棟、精神病棟)は、築後 30 年以上が経過し、設備も老朽化が進んでいるため、経年劣化による修繕対応が増えている。令和3年度は、病院事業庁が管理検査棟ほか屋上防水・外壁改修工事等を実施し、病院側でボイラー水管部交換等の修繕等を実施した。
- ・医療機器については、病院事業庁が計画的に更新しているが、耐用年数を超えて使用しているものも多く、修繕による対応に努めている。
- ・診療材料、医療消耗品については、SPD(物品管理)委員会において定期的に使用状況を把握しながら定数を管理するとともに、薬品については積極的に後発医薬品へ切り替えるなど経費削減に努めた。
- ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策として、緊急に必要な医療機器や備品等については、病院側で購入等を行った。

##### ③ 施策への配慮に関する業務

- ・へき地医療支援機構(事務局)として代診医の派遣調整を実施した。また、志摩市間崎島への巡回診療を月2回(内科系・外科系)実施し、島民に受診の機会を提供した。
- ・「女性が働きやすい医療機関(平成 29 年3月県認証、令和2年3月再認証)」として、女性の就労環境等の改善に努めた。
- ・自動精算機、会計表示板を新たに設置し、利便性の向上を図った。
- ・オンライン資格認証システムを導入し、マイナンバーカードの健康保険証利用を開始した。
- ・省エネルギー対策(こまめな消灯や照明の間引き、電灯のLED化など)に取り組んだ。
- ・思いやり駐車区画を正面玄関付近と立体駐車場に設け、適正な利用について啓発を実施した。

##### ④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・関係法令に基づいて規程を整備、個人情報管理責任者を配置し適切な管理を実施した。

##### ⑤ その他の業務

- ・地域連携センターでは、地域の医師会、介護・福祉施設、関係団体等と顔の見える関係を築くとともに、地域の中核病院として、専門職員対象の研修会等を実施してきたが、前年度に続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、リモートによる開催や事業数を減らさざるを得ない状況となった。

## (2) 施設の利用状況

	R 2	R 3
1日平均入院患者数	172.7人/日	167.9人/日
1日平均外来患者数	254.4人/日	254.8人/日
1か月平均救急患者数	249.5人/月	277.8人/月

## 2 利用料金の収入の実績

	R 2	R 3
入院収益	2,052,087千円	2,185,040千円
外来収益	794,653千円	811,986千円
その他医業収益	71,576千円	81,478千円

## 3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	R2	R3		R2	R3
指定管理料	581,124,000	594,143,000	事業費	4,013,648,906	4,405,485,411
利用料金収入	2,918,316,410	3,078,503,830	管理費	58,633,000	61,834,000
その他の収入	1,267,299,761	1,765,768,300	その他の支出	7,109,638	7,320,873
合計 (a)	4,766,740,171	5,438,415,130	合計 (b)	4,079,391,544	4,474,640,284
収支差額 (a) - (b)	687,348,627	963,774,846			

### ※参考

利用料金減免額	—
---------	---

## 4 成果目標とその実績

成果目標	1日平均入院患者数 1日平均外来患者数 1か月平均救急患者数 経常収支比率 利用者満足度	300人/日 600人/日 1,000人/月 100% 85%
成果目標に対する実績	1日平均入院患者数 1日平均外来患者数 1か月平均救急患者数 経常収支比率 利用者満足度	167.9人/日 (R2実績:172.7人/日) 254.8人/日 (R2実績:254.4人/日) 277.8人/月 (R2実績:249.5人/月) 121.5% (R2実績:116.8%) 65.5% (R2実績:71.0%)
今後の取組方針	志摩地域の中核病院として、地域の方々に安全かつ良質な医療が提供できるよう、引き続き諸課題の改善に努めるとともに、伊勢志摩地域医療構想で示された当院の役割に沿って、他施設と連携しながら地域包括ケアシステム構築に寄与していく。 また、内科系救急の24時間365日の患者受入れを継続して行うとともに、地域医療支援病院として地域の医療機関等と連携し、患者の紹介・逆紹介の推進や専門職を対象とした研修、医療機器の共同利用等の充実を図る。さらに医師確保に努めるとともに総合診療医と専門医の連携による医療の充実を図り、収支改善に取り組んでいく。	

5 管理業務に関する自己評価

評価の項目	評価		コメント
	R2	R3	
1 管理業務の実施状況	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い疾患に対応できる体制の構築(総合診療医、内科医等の専門医や医療技術者等を確保)や住民の医療ニーズへの適切な対応(地域包括ケア病棟の運用、通所リハビリテーション事業、志摩市間崎島への巡回診療の実施等)など、診療機能の回復・充実及び地域医療への貢献に努めた。</li> <li>利用に係る料金收受等を適切に処理した。</li> <li>施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務を適切に実施した。</li> </ul>
2 施設の利用状況	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日平均入院患者数を除き、前年度実績を上回っている。1日平均入院患者数の減少は、新型コロナウイルス感染症患者専用病床の確保にあたり、病棟を1つ閉鎖するなど、当初予定されていない対応が必要となったことによるものである。</li> <li>地域包括ケア病棟の運用(長期間入院加療ができる病床として住民の医療ニーズに対応)や地域医療支援病院としての活動(病診連携の推進、地域の医療技術者への研修実施、医療機器の共同利用等の推進)など、入院・外来患者の確保に向けた取組を実施している。</li> </ul>
3 成果目標及びその実績	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響等による入院患者数の減少等により、1日平均入院患者数、1日平均外来患者数、1か月平均救急患者数、利用者満足度の成果目標は達成できず、前年度の実績を下回った。なお、成果目標は同感染症による影響を元々見込んでいないことから、目標の未達については帰責性のないものと考えている。</li> <li>経常収支比率は、新型コロナウイルス感染症にかかる補助金等の受入れがあったことから目標を達成できた。</li> </ul>

※評価の項目「1」の評価： 「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。

「B」→ 業務計画を順調に実施している。

「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。

「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」、「3」の評価： 「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。

「B」→ 当初の目標を達成している。

「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。

「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>令和3年度(指定管理者制度への移行 10 年目)も、業務の効率化を図りながら診療機能の維持・充実を図り、地域医療への貢献に努めた。</p> <p>診療体制については、引き続き、医師の確保(主に協会等の研修プログラムによる後期研修医の確保)に努めた。</p> <p>入院医療では、急性期病床(一般病棟)と回復期機能である地域包括ケア病床(72床)を運用することにより、地域の医療ニーズに的確に対応し、61,291人の患者を受け入れた。</p> <p>外来診療では、産婦人科において常勤医師が欠員となったものの、非常勤医師等により診療体制を維持した。</p> <p>救急診療では、内科系救急において24時間365日体制での患者受入れを継続し、地域住民に受診の機会を提供した。</p> <p>収支状況については、入院患者数が減少する一方、診療単価の増額により、前年度より増収となった。また、健診事業や通所リハビリテーション事業の収益は増加した。</p> <p>施設・設備の老朽化等への対応や高額な医療機器の更新については、県と連携を密にし、計画的な導入に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、県と連携しながら病床の確保や入院調整を行うなど、前年度に引き続き難しい病床管理・運用に的確に対応した。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 3 指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名: 病院事業庁

#### 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県立志摩病院(志摩市阿児町鵜方 1257)
指定管理者の名称等	公益社団法人地域医療振興協会 理事長 吉新通康 (東京都千代田区平河町 2-6-3)
指定の期間	平成 24 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療等に関する業務</li> <li>・利用に係る料金の收受等に関する業務</li> <li>・手数料の徴収に関する業務</li> <li>・施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務</li> <li>・その他志摩病院の管理上必要と認める業務</li> </ul>

#### 2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H24	B		<p>常勤医師について、内科の常勤医を増やすとともに、小児科に平成 24 年から、皮膚科に平成 25 年から、産婦人科に平成 30 年からそれぞれ配置するなど、基本協定上の 14 診療科の診療機能を段階的に回復した。</p> <p>入院診療については、指定管理期間4年目に休棟を解消するなど、稼働病床数を段階的に増床したほか、地域の医療ニーズに対応するため平成 28 年から地域包括ケア病棟の運用を開始した。</p> <p>外来診療については、平成 26 年から消化器科を開設、平成 30 年から通所リハビリテーション事業を開始するなど、診療機能を拡充した。</p> <p>救急医療については、平成 28 年 5 月から内科系救急における 24 時間 365 日の受入れを開始した。</p> <p>また、地域医療提供体制の充実に向けて、平成 29 年 10 月に「地域医療支援病院」の承認を受け、患者の紹介や逆紹介、医療機器の共同利用など地域の医療機関との連携を強化するとともに、平成 30 年から離島である間崎島への巡回診療(月 2 回)も開始した。</p> <p>令和 2、3 年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、関係機関と連携しながら、専用病床の確保、ワクチン接種等、想定外の業務にも適切・迅速に対応した。</p>
H25	B		
H26	B		
H27	B		
H28	B		
H29	B		
H30	B		
R 元	B		
R2	B		
R3	B		

### 3 施設の利用状況

	指定管理者 の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H24	B		<p>1日平均入院患者数、1日平均外来患者数、1か月平均救急患者数の実績について、指定管理開始以降順調に回復してきた。</p> <p>しかしながら概ね平成29年度をピークにその後各実績が減少し、特に令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている。</p> <p>地域包括ケア病棟の運用や地域医療支援病院としての役割を果たす中で患者の確保を図るとともに、内科系救急では24時間365日体制での患者受入れを継続し、志摩地域の救急医療の確保などに貢献してきたが、平成29年度の水準には戻っていない。</p>
H25	B		
H26	B		
H27	B		
H28	B		
H29	B		
H30	C		
R元	C		
R2	C		
R3	B		

### 4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	5,134,545,000	事業費	40,081,409,409
利用料金収入	31,006,489,792	管理費	623,700,000
その他の収入	5,443,527,598	その他の支出	60,686,165
合計 (a)	41,584,562,390	合計 (b)	40,765,795,574
収支差額 (a)-(b)	818,766,816		

※参考

利用料金減免額	—
---------	---



## 5 成果目標及びその実績

全期間における成果目標及びその実績											
成果目標項目	目標値(R3)	H24実績値	H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H30実績値	R元実績値	R2実績値	R3実績値
1日平均入院患者数	300人/日	206.9人/日	206.0人/日	205.7人/日	204.1人/日	222.4人/日	222.7人/日	198.5人/日	194.2人/日	172.7人/日	167.9人/日
1日平均外来患者数	600人/日	283.8人/日	301.9人/日	307.9人/日	317.6人/日	321.6人/日	321.8人/日	313.8人/日	296.4人/日	254.4人/日	254.8人/日
延外来患者数	—	69,530人	73,675人	75,127人	77,188人	78,159人	78,507人	76,577人	—	—	—
1か月平均救急患者数	1,000人/月	327.9人/月	380.7人/月	420.4人/月	457.1人/月	505.5人/月	487.1人/月	483.8人/月	386.1人/月	249.5人/月	277.8人/月
経常収支比率	100%	99.4%	99.5%	99.1%	96.0%	96.8%	98.3%	96.1%	94.2%	116.8%	121.5%
利用者満足度	85%	72.4%	79.1%	79.6%	76.3%	75.7%	75.9%	76.6%	75.2%	71.0%	65.5%

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H24	B	—	<p>診療機能の拡充等、様々な取組を通じて患者、収益の確保をめざして管理運営を行ってきたが、いずれの年度においても全項目の成果目標を達成するまでには至らなかった。</p> <p>しかしながら、指定管理者の取組により、診療機能を段階的に回復させてきたことが1日平均入院患者数、1日平均外来患者数、1か月平均救急患者数の実績値の推移により確認でき、年度によっては個々の項目において目標を達成したものもある。</p> <p>なお、令和2、3年度においては新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたことから、それ以前の年度と単純に比較することが困難となっている。</p>
H25	C		
H26	C		
H27	C		
H28	C		
H29	C		
H30	C		
R元	C		
R2	C		
R3	B	—	

## 6 総括評価

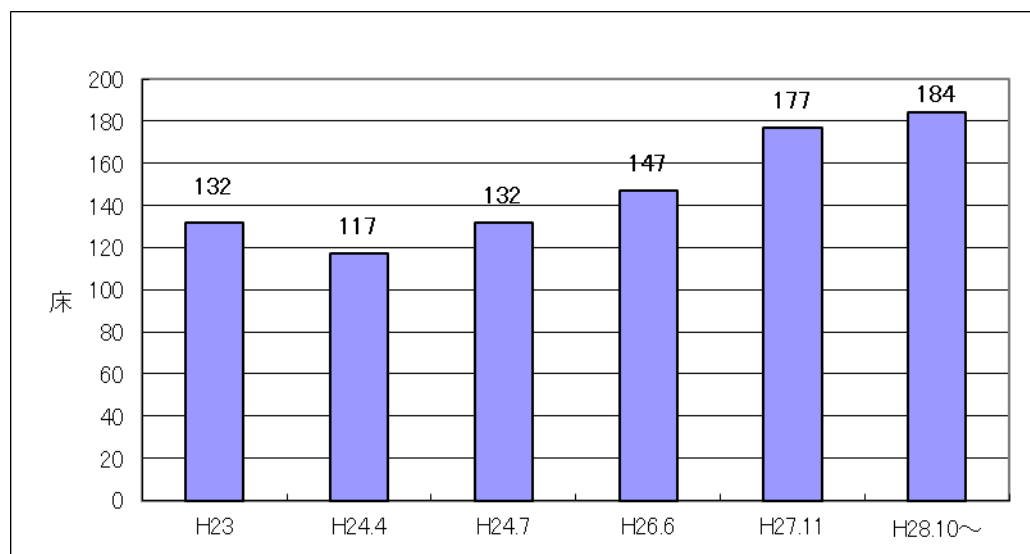
- 指定管理者制度の導入は、当時危機的状況にあった志摩病院の診療体制の立て直しに一定の成果をもたらした。
- 県直営時に比べて多くの常勤医師を確保し、診療科目の回復・充実を着実に進め、救急患者の受入れ強化にもつながった。また、平成 29 年 10 月に「地域医療支援病院」の承認を受け、地域の医療機関との連携を強化するとともに、地域包括ケア病棟の運用や通所リハビリテーション事業を開始するなど、地域のニーズにも的確に対応した。
- こうした取組の結果、人口が減少傾向にある志摩地域において、入院・外来患者数は着実に増加し、救急医療では内科系救急において 24 時間 365 日の受入開始を実現し、救急患者の受入れも大幅に増加した。
- 経営面においても、経常収支比率 100%を達成することは困難であったものの(※)、県直営時と比較して赤字額を大幅に改善させた。  
(※) 令和 2、3 年度は経常収支比率が 100%を超えているが、新型コロナウイルス感染症に係る国からの交付金等による影響が大きい。
- 施設・設備の管理においても、老朽化が進んでいる中、修繕対応等を着実に実施するだけでなく、オンライン資格認証システムの導入によるマイナンバーカードの健康保険証利用を開始したり、自動精算機を導入したりするなど、利便性向上にも積極的に取り組んだ。
- 令和 2 年度以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、各関係機関と連携しながら専用病床の確保やワクチン接種等に的確に対応した。
- 以上のことから、指定管理期間を通じて成果目標の達成は困難であったものの、診療機能の回復・充実や地域の医療機関との連携など、志摩地域の中核病院として、地域医療の中心的役割を果たしたと評価できる。

## (参考) 指定管理者による志摩病院の運営状況

### 《① 診療科別常勤医師数の推移》

診療科等	指定管理												
	H24.3	H24.4	H25.4	H26.4	H27.4	H28.4	H29.4	H30.4	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4	R4.10
内科および救急・総合診療科	5	7	11	17	11	14	14	11	10	9	11	10	12
外科	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	5	5
整形外科	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
脳神経外科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1
小児科	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1
東洋医学・皮膚科	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
精神科	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
放射線科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	20	22	24	30	23	26	26	24	22	22	24	24	27
初期研修医	1	2	2	2	3	4	2	2	4	4	6	6	6
合計	21	24	26	32	26	30	28	26	26	26	30	30	33

### 《② 一般病床の稼働病床数の推移》

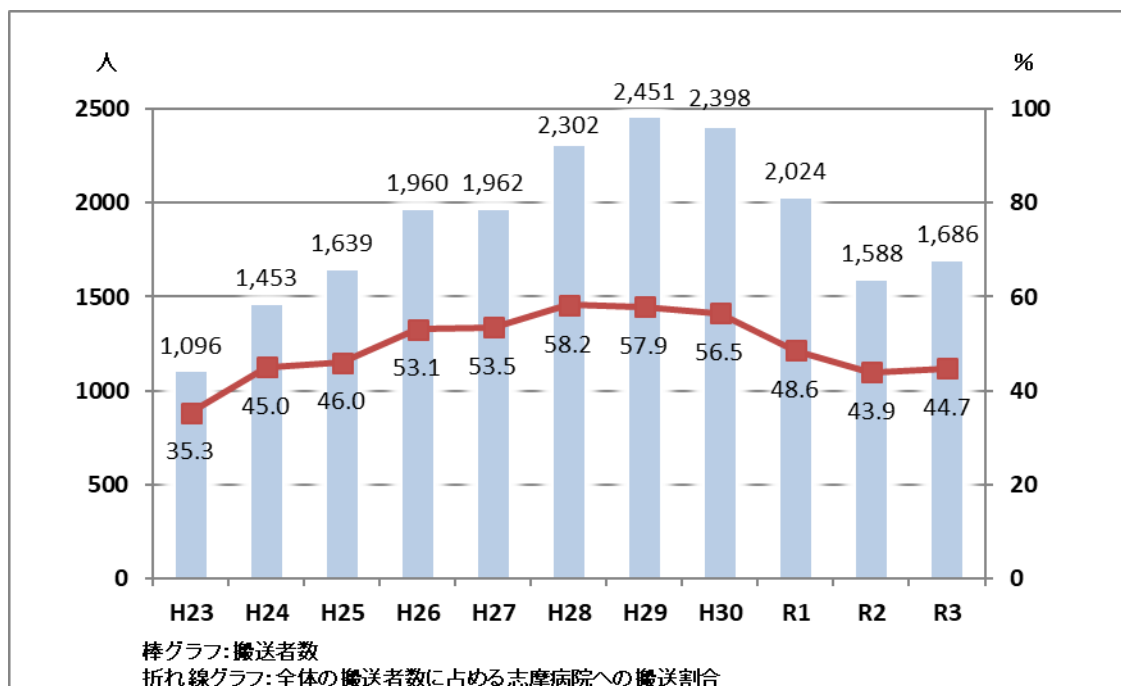


※許可病床数：236床

### 《③ 患者数の推移》

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
入院患者数	74,504	75,535	75,176	75,077	74,697	81,177	81,273	72,447	71,082	63,041	61,291
外来患者数	74,024	69,530	73,675	75,127	77,188	78,159	78,507	76,577	71,133	61,819	61,655

《④ 志摩市消防本部から志摩病院への搬送者数及び搬送割合》



《⑤ 指定管理者会計の決算の推移》

(単位: 百万円)

	指定管理移行前	指定管理移行後									
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
①事業収益	2,593	2,769	2,930	3,033	3,066	3,359	3,476	3,322	3,207	2,932	3,092
医業収益	2,534	2,721	2,876	2,971	3,000	3,291	3,404	3,249	3,122	2,847	2,997
うち入院診療収益	1,712	1,926	2,040	2,129	2,128	2,396	2,507	2,343	2,261	2,052	2,185
うち外来診療収益	822	795	835	841	873	896	898	906	861	795	812
医業外収益	59	53	59	67	70	72	76	80	85	85	95
②事業外収益(交付金・補助金等)	815	589	563	563	556	556	571	577	604	1,835	2,347
収益計(①+②)	3,408	3,359	3,493	3,596	3,622	3,915	4,047	3,899	3,811	4,767	5,439
③事業費用	4,437	3,923	3,943	4,006	3,955	4,138	4,112	4,050	4,038	4,072	4,467
④事業外費用	196	1	5	8	8	6	5	6	9	7	7
費用計(③+④)	4,633	3,924	3,948	4,015	3,963	4,144	4,116	4,056	4,047	4,079	4,474
経常収支	▲ 1,225	▲ 565	▲ 454	▲ 419	▲ 341	▲ 229	▲ 69	▲ 156	▲ 236	687	964
経営基盤強化交付金(赤字補てん)	-	565	454	419	341	229	69	156	236	0	0
⑤臨時収益	516	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
⑥臨時費用	1,621	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
当期利益	▲ 2,330	▲ 565	▲ 454	▲ 419	▲ 341	▲ 229	▲ 69	▲ 156	▲ 236	687	993

※1 四捨五入のため、合計や差引が合わない場合があります。

※2 H24以降は、減価償却費が含まれないなど、H23(指定管理移行前)とは一部異なります。

《⑥ 県からの交付金の交付状況》

(単位: 百万円)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計
政策的医療交付金(指定管理料)	450	466	475	482	486	517	525	559	581	594	5,135
特例措置交付金(看護師等への現給保障)	112	53	39	30	28	11	6	2	0	0	282
経営基盤強化交付金(赤字補てん)	565	454	419	341	229	69	156	236	0	0	2,470

※ 四捨五入のため、合計が合わない場合があります。